

# 「主体的に学習に取り組む態度」の育成に焦点をあてた 授業改善に関する研究

## 資料

総合支援部小中学校支援課

資料 1 3年次【単元（題材）構想メモ R7版】

※研究の成果物

資料 2 3年次【事後研修シート R7版】 ※研究の成果物

資料 3 3年次【単元（題材）構想ガイド R7版】

※研究の成果物

資料 4 3年次【実践資料】 ※研究協力校の実践

国語 ・ 単元構想メモ ・ 学習指導案

# 資料 1



「主体的に学習に取り組む態度」の育成につながる

## 単元(題材)構想メモ



・教科名( 科 ) ・学級( 年 組 )  
・単元/題材名 ( )

単元(題材)で授業者がねらう「主体的に学習に取り組む態度」を発揮している子供の姿を具体的に考えてみましょう。

子供の具体的な姿(本時の姿⇒☆)	実現のための手立て	評価方法

➡学習指導案の「単元(題材)計画」本時」にそれぞれを位置付けて、単元(題材)を構想しましょう。



# 単元(題材)構想ガイド



## Plan

### STEP 1

単元(題材)について目標・評価規準を設定する。

※授業を行う教科の動画で、教科における「主体的に取り組む態度」のイメージをもつことができます。

### STEP 2

『「主体的に学習に取り組む態度」の育成につながる単元(題材)構想メモ』(以下「構想メモ」)に記入する。

**POINT①**

単元(題材)でねらう「主体的に学習に取り組む態度」を発揮している子供の姿を「子供の具体的な発言やつぶやきの言葉」「子供の具体的な行動」等で考えてみましょう。

「主体的に学習に取り組む態度」の育成につながる

### 単元(題材)構想メモ

- ・教科名(国語科) ・学級(3年組)
- ・単元/題材名(「おいしく食べるくふう」を説明する文を書こう)

単元(題材)で授業者がねらう「主体的に学習に取り組む態度」を発揮している子供の姿を具体的に考えてみましょう。

子供の具体的な姿(本時の姿⇒☆)	実現のための手立て	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大豆みたいに、姿が変わる食べ物は何かな」と「すがたをかえる大豆」での学習や教科書の文章を参考に、自分が説明したい食材を決めようとしている。</li> <li>・自分が選んだ食材について、本やインターネット、家の人や栄養士へのインタビューなどを活用して調べようとしている。</li> <li>・「卵が好きなお〇さんに教えたいな」など、伝えたい相手に説明しようとしている。</li> <li>・「どの食品を書けばわかりやすいかな」と内容を考えながら、組み立てメモにまとめようとしている。</li> <li>・「組み立てメモを使うとわかりやすいな」「組み立てメモをもう少しおしたいな」「本やインターネットでもっと調べたいな」「別の資料が必要だな」など、わかったことやわからなかったことを振り返り、次の学びにつなげようとしている。</li> <li>・「変身の仕方が分かりやすく書かれているね」など、組み立てメモを読み合い、互いの良いところを伝え合っている。</li> </ul> <p>☆「食べ方の工夫を、どの順番に書けばいいかな」など、組み立てメモを基に、説明する文章の構成を工夫して、書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」の学習を振り返ったり、身の回りの食べ物を想起したりして、自分が説明したい食材を選ぶ場面を設定する。</li> <li>・自分に合った調べ方を選び、試す場面を設定する。</li> <li>・相手意識がもてるように、誰に説明する文を書くのかを確認する。</li> <li>・必要な時に調べられるように、本やタブレット端末を常に用意しておく。</li> <li>・「感想」などではなく「わかったことを書きましよう」「困っていることを書きましよう」など、児童が自分の学びの成果と課題について振り返ることができる問い方をする。</li> <li>・班で組み立てメモを読み合う場面を設定することで                         <ul style="list-style-type: none"> <li>①分かりやすい説明の工夫について共有しながら、他者の工夫を自分の構成の参考にできるようにする。</li> <li>②新たな視点を心得、自分の意図が伝わる構成が考えられるようにする。</li> </ul> </li> <li>・「すがたをかえる大豆」の文章や友達の記事と比較しながら考えることができるようにする。</li> <li>・タブレット端末を活用し、児童が書いた説明する文章の閲覧や、それに対する意見交換ができるようにしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言や行動観察</li> <li>・学習シート(ノート、タブレット端末)</li> <li>・学習シート(ノート、タブレット端末)</li> <li>・発言や行動観察</li> <li>・組み立てメモや説明する文章</li> <li>・発言</li> <li>・組み立てメモ</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・発言</li> <li>・学習シート(ノート、タブレット端末)</li> <li>・組み立てメモ</li> <li>・学習シート(ノート、タブレット端末)</li> <li>・説明する文章</li> </ul>

→学習指導案の「単元(題材)計画・本時」にそれぞれを位置付けて、単元(題材)を構想しましょう。

「思考力、判断力、表現力等」とのつながりが見えてきますね!



**POINT②**

【単元の中に意識して取り入れる手立ての視点】  
(全てを行う必要はありません。)

- 児童が自ら課題を設定する場面
- 児童が解決方法を考えられるような場面
- 児童が考えた解決方法を試す場面
- 児童が他者の考えを参考にできる場面
- 児童が分かったことや、分からなかったことを振り返ることができる場面
- 児童が発展的な学習に取り組む場面
- 目標に達した児童が新たな解決方法を考えられる場面
- 目標に達していない児童が再度、解決方法を考えられるような場面

### STEP 3

「構想メモ」を基に、単元(題材)計画を作成する。



D。

## STEP4

### 授業実践と見取りを行う。

POINT③

授業（参観）では、単元（題材）構想メモで想定した子供の具体的な姿や、授業の中で「主体的に学習に取り組む態度」を発揮している子供の具体的な姿を中心に見取りましょう。

Check

## STEP5

### 授業実践についての振り返りを行う

通常授業：構想メモ裏面 公開授業等：事後研修シート

#### 主体的に学ぶ子供の姿

※本時（☆）の子供の姿を抜粋してあります。

（例）

Aさん 「どう書いたら相手にわかりやすく伝わるかな」と何回も構成について考え、修正する。

（例）

Bさん 手が止まった時に、タブレット端末を使って友達の文章を見て、それを参考にまた書き始める。

（例）

Cさん 友達の文章を読んでもどう修正して良いかわからなかった。手が止まっている。

（例）

Dさん タブレット端末を使って友達とお互いに文章を読み合い、アドバイス合っている。

#### これからの学習指導（他教科も含む）に生かしたいこと

※単元全体について書いています。

（例）

- ・振り返りの工夫（問い方）
- ・友達の考えと比較できる場面の設定（ICTの活用）

Action

## STEP6

### 他単元や他教科の子供の学びに生かす



（例）

- ・他教科でも、授業や単元の振り返りの際に、「感想」などではなく、「わかったこと」「困っていること」「新しく疑問に思ったこと」など、児童が自分の学びの成果と課題について振り返ることのできる問い方をする。
- ・国語の「話すこと・聞くこと」の単元で、ICTを活用し、お互いのスピーチを閲覧したり意見交換したりすることができるようにする。



PDCAサイクルを意識して単元（題材）を構想、実践していくと、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成することにつながっていきますね！



「主体的に学習に取り組む態度」の育成につながる



# 単元(題材)構想メモ



・教科名( 国語科 ) ・学級( 1年 〇組 )  
 ・単元/題材名 (お気に入りの自動車を紹介しよう )

単元(題材)で授業者がねらう「主体的に学習に取り組む態度」を発揮している子供の姿を具体的に考えてみましょう。

子供の具体的な姿(本時の姿⇒☆)	実現のための手立て	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「じどうしゃくらべ」にも問いや答えがあるのかを考え(見付け)ながら、本文を読もうとしている。</li> <li>・自分が面白い(すごい)と思った自動車(この単元ではバス・乗用車、トラック、クレーン車の3つの中から)を紹介するために、教科書に出てくる自動車の「しごと」と「つくり」について調べようとしている。</li> <li>・バス・乗用車の「しごと」と「つくり」を本文から見付けて、色を分けてそれぞれに線を引こうとしている。</li> <li>・友達に自分が見付けた「しごと」と「つくり」を伝えようとしている。</li> <li>・トラックの「しごと」と「つくり」を本文から見付けて、線を引いたり、学習シートにまとめたりしようとしている。</li> <li>・友達に、自分が見付けた「しごと」と「つくり」について、見付けた理由を交えながら伝えようとしている。</li> <li>☆クレーン車について書かれた段落を読み、キーワードとなる言葉を見付けながら「しごと」と「つくり」についてまとめようとしている。</li> <li>☆クレーン車の「うで」と「あし」の違いや、「つり上げる」という言葉に着目して、「つくり」について自分なりに理解を深めようとしている。</li> <li>・教科書に出てきた自動車の「しごと」と「つくり」の関係(同じこと、ちがうこと)を整理しようとしている。</li> <li>・自分が面白いと思った自動車について、本文から見付けたことや自分が考えたことを交えて友達に紹介しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習した説明文について振り返ったり、題名から思い浮かぶことを聞いたりする。</li> <li>・教師が範読する。本文を読んだ感想を聞きながら、自分が一番面白い(すごい)と思った自動車について、友達に伝えようという学習課題を提示する。</li> <li>・自動車の「しごと」に赤と「つくり」に青と思う箇所に色を分けて線を引くことを確認する。ペアで線を引いた箇所を確認できる時間を設ける。</li> <li>・大事な言葉のところが穴あきになっていて書き込みができるワークシートを用意する。</li> <li>・前時のように線を引いて確認する。また、線を引いたところから言葉を選んでまとめることができ、前回より穴あきのスペースが多いワークシートを用意する。</li> <li>・「しごと」と「つくり」をどのように見付けたのか、確認し、言い合う時間を設ける。</li> <li>・クレーン車の「しごと」と「つくり」の中から、キーワード(大事な言葉)は何かを見付けようと投げかけ、重要な語を選び出すことを意識できるようにする。今までのワークシートの様式を活用し、3つのパターンのワークシートから選べるように用意する。</li> <li>・意見を交流する場を設ける。</li> <li>・これまでの学習を振り返りながら、自分が紹介したい自動車を選ぶことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シート</li> <li>・発言や行動</li> <li>・発言</li> <li>・学習シート(ノート)</li> <li>・発言、行動観察</li> </ul>

➡学習指導案の「単元(題材)計画」5本時にそれぞれを位置付けて、単元(題材)を構想しましょう。

- 1 日 時 令和7年11月12日(水) 5校時
- 2 学 級 第1学年1組 男子10名, 女子16名 計26名
- 3 単元名 お気に入りのじどう車をしょうかいしよう「じどう車くらべ」
- 4 単元目標

- 情報と情報との関係について理解することができる。 【知識及び技能】(2)ア
- 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。【思考力・判断力・表現力等】  
C(1)ア
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 【思考力・判断力・表現力等】  
C(1)ウ
- 言葉のもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間力等】

#### 5 校内研修や学年テーマにかかわる単元観と児童の実態

第1学年の児童は、「がんばりたい」「できるようになりたい」という思いをもって、前向きに学習に取り組んでいる。毎日の本読みの宿題により、文字を見てすぐに読むことができる児童が増えている。また、1学期に平仮名を学習し、2学期からはカタカナ、漢字の学習も始まり、ノートを複数ページ書くことにも慣れてきている。一方で、内容を理解しながら読むことが難しかったり、学習の仕方が分からずに学びが進まなかったりする児童も一定数いる。ただ文字を読むだけでなく、単元目標にもある、情報と情報の関係について理解し、内容の大体を捉えたりする部分は、伸ばしていきたいと考える。

そこで、研究主題「主体的に学ぶ子の育成」を図るために、1年部の学年テーマを「見通しをもって安心できる授業」とした。どんな風に学習を進めていけばよいのか、今何をしたらよいのかなど、見通しをもって学び方を理解していれば、安心して授業に取り組めると考えた。

#### [1年部としての校内研修テーマの捉え]

「子どもが課題や解決方法(学び方)を自己決定・自己選択できる授業を実践すれば、主体的に学ぶ子の育成につながるだろう」との話があった。現時点の1年生は、基本的には課題や解決方法(学び方)を自己決定・自己選択するために学び方を学んでいく必要があり、教師は学び方を教える部分が多いと考えている。一方で、既習の内容や活動については自己決定・自己選択できる部分があり、委ねることができる部分もあると考える(下部「1つ目」の内容につながる)。だから学年テーマをこうした。

そして「見通しをもって安心できる授業」を展開していくために、以下の3つのことを大切にしていく。

1つ目は、年間を通して段階的に学びを積み重ね、既習事項を積極的に使うことである。説明的文章は、「つぼみ」「うみのかくれんぼ」に続き3回目の学習である。1回目「つぼみ」の学習では、問いと答え、説明の文章構成から題名や写真を手掛かりに内容の把握を進めた。2回目「うみのかくれんぼ」では、事柄の順序を考えながら内容把握を進めた。本単元では、過去2回の学習活動を継続することで、学習の見通しをもち、安心して授業に取り組めるようにする。また、「前の○○で学習したみたいに」など既習事項との関連を図るとともに、項目ごと色分けした線を引くことや、文章中の重要な語句や文を選ぶことなど、学習の仕方を繰り返すことで、学習を積み重ねる。

2つ目は、個に応じたワークシートの使用である。基本的な型は統一させる一方で、まとめる字数や支援度の違うワークシートを準備して、児童が解決方法を自己決定できるようにしていく。個に応じたワークシートを使用することは、児童の安心感にもつながると考える。

3つ目は、掲示や関連する本の配置など、学習環境の充実である。学習指導要領「C 読むことア」に「児童の発達や学習の状況に応じて、題名や見出し、写真なども手掛かりにしながらか」とあるように、文字だけでなく写真を手掛かりにしたり、学んだ内容を教室に掲示したりすることで理解が深まり、安心して学ぶことができる。また、本単元と次単元「じどうしゃづくかんをつくろう」にも関連して、自動車に興味関心をもつために、司書リーダーと連携の下、自動車関連の本を教室に配置する。

以上3つのことを大切にしながら単元を展開する中で、「見通しをもって安心できる授業」を行いた

い。

6 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	① 読むことにおいて、事柄の順序などを考えながら、説明を読み、自動車ごとの「しごと」と「つくり」の内容の大体を捉えている。 ② 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	①進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習の見通しをもって、お気に入りの自動車を紹介しようとしている。

7 単元の指導計画

次	時	○学習活動	○「おおむね満足できる」状況 (B) 〔評価の観点〕 【評価方法】
第1次	1	○知っている自動車について出し合う。  ○範読を聞き、お気に入りの自動車を友達に紹介するという学習のめあてを設定し、学習の見通しをもつ。	※記録に残す評価なし。
	2	○問いの文や出てきた自動車、自動車の「しごと」と「つくり」が説明されていることを確かめ、内容の大体を捉える。	○事柄の順序などの情報と情報との関係について理解している。 〔知〕①【発言・記述】 ○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 〔思〕①【発言・記述】
第2次	3	○それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	○進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 〔主〕①【発言・観察】
	4	3『乗用車・バス』	○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 〔思〕②【発言・記述】
	5 本時	4『トラック』 5『クレーン車』	
第3次	6	○前時までに学んできた自動車の共通点や相違点を確認し、はしご車をワークシートでまとめ確認する。	○事柄の順序などの情報と情報との関係について理解している。 〔知〕①【発言・記述】
	7	○3つの自動車の中で“一番いいな”と思ったお気に入りの自動車を友達に紹介する。	○これまでの学習をいかして、お気に入りの自動車について分かったことや心に残ったことを自分の言葉でまとめたり伝えようとしたりしている。 〔主〕①【発言・記述】

## 8 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・クレーン車について、線を引いたり、挿絵と結び付けたりする活動を通して、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

〔思〕【発言・記述】

### (2) 本時の学習課程 (5/7)

学習活動 (◎主発問 ○発問 ・児童の表れ)

※支援・留意点

〔評価【評価方法】〕

1 前時をふりかえる。

- ・今のところ、荷物を運ぶ仕事をしているトラックを紹介したい。(学習内容に関する振り返り)
- ・絵を見ながら考えたことで、荷台がどこかよくわかった。(学習方法に関するふりかえり)

2 本時のめあてを確認する。

◎クレーン車は、どんなしごととつくりをしているだろう。

3 内容を確認するために、音読をする。

○どうすれば、めあてに対する答えが出るだろう。

- ・教科書の文章を読む。

4 本文(ワークシート)に線を引きながら、内容理解を深める。

○クレーン車の仕事がかかっているところと、つくりがかかっているところに線を引いてみよう。

- ・重い物を吊り上げる仕事。
- ・「しごとをしています」と書かれているから、ここに線を引いたよ。
- ・「そのために」の後に、自動車のつくりがかかっている。
- ・丈夫な腕が伸びたり、動いたりするように作ってある。
- ・車体が傾かないように、しっかりしたあしがついている。

○吊り上げるとは、どのような動きだろう。

- ・吊り上げるとは、こうすることだよ。(動作化、「持ち上げる」との区別)

○丈夫なうではどれのことだろう。

- ・うでとはこのことだよ。(絵で確認)

○あしとはどれのことだろう。

- ・クレーン車のあしとは、このことだよ。(絵で確認)
- ・しっかりしたと書かれているから、ここだと思う。(絵で確認)

5 クレーン車の仕事とつくりについて、ワークシートにまとめ、全体で確認をする。

- ・クレーン車は、重い物を吊り上げる仕事をしている。そのために丈夫な腕が伸びたり動いたりするように作ってある。車体が傾かないように、しっかりしたあしがついている。

6 本時の振り返りを行う。

○今日の授業で、どんなことを思っただろう。

- ・どの自動車も、うでやあしがあるのかな。(学習内容に関する振り返り)
- ・バスやトラックと同じような方法で文章を読んだから、よくわかった。(学習方法に関する振り返り)

7 次時の内容を確認する。

○みんなは、どの自動車が特によいと思ったかな。

- ・私は、クレーン車がいいと思った。なぜなら、丈夫なうでが伸びたり動いたりするところがすごいと思ったから。

- ・学びの積み重ねを実感し、また、児童の思考を生かしながら授業を進めるため、前時の振り返りを紹介する。

- ・本時の目標を焦点化するために、前時までの内容と本時の内容を比較した質問をする。

- ・仕事とつくりを意識するために、プリントを使い、役割を決めて、音読をする。

※読みが苦手な N.S、S.S には、読んでいる場所が分かるように指で文字を追うように働きかける。

- ・文章の構成を視覚化するために、「仕事」が書かれているところには赤線、「つくり」が書かれているところには青線を引く。

・線を引く場所や自動車のどこを説明しているかが分かるように、ペアでの相談の時間を設けたり、書画カメラ使って意見を共有したりする。また、言葉の意味を理解するため、動作化を行う。

・自分に合ったやり方で、安心して学ぶために、ワークシートを3つの中から選択させる。

※学習活動の理解が苦手な K.R、S.S、K.R には、抜き出す言葉の頭文字や文字数を伝えるなどして、活動に取り組みやすくする。

文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。

〔思〕【発言・記述】

進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。

〔主〕①

・前単元から振り返りの視点を与え、振り返りの内容に選択肢をもたせる。